

今回は高校での英語教師としての指導経験を生かし、現在は英語教室を運営しながら、草津市内の小学校で英語活動の指導助手として活躍されているトレーナーの実践報告です。



小島文恵さん

滋賀県草津市英語活動指導助手、Kiddy English House  
英語教室主宰、J-SHINEトレーナー資格保持者

## J-SHINE 通信

2014年2月号

### ■ J-SHINEトレーナー資格を取得したきっかけ

私は、大学卒業後 11 年間私立の高校で英語の教師をしていました。その間に外国語（英語）の音声に慣れるには早くからのほうが良いと信じるようになりました。そして、家庭の事情により退職を機に、自宅で幼児から中学生を対象に英語教室を開きました。

もともと学校教育の中で生徒と関わっていた私は、自分の教室にやってくる一部の子どもだけでなく、すべての子どもに英語を学ぶ楽しさを知ってほしいと願うようになりました。そんな折に小学校では総合学習の中で英語活動が始まりました。ちょうどその頃、J-SHINE が設立され、小学校で何らかの形で関わるならば、児童に英語を教えるための資格を持つことは重要だと考え、2004 年に資格を取りました。

私の住む滋賀県草津市では、2006 年に全小学校 13 校に英語活動指導助手が雇用されました。私は 2005 年から地域の小学校に社会人講師として入っていましたが、その翌年から市採用に移行しました。

小学校の授業の中で先生方の支援をしたり、教員研修の講師を経験したりするうちに、自分が小学校教育について知らなければならないことを痛感しました。そこで、大学院に入って学校教育を専攻し、主に動機づけについて学びました。それと同時に、自分の核となるもの、自信となるものが必要だと思い、2011 年にトレーナー試験に挑戦しました。試験のためとはいえ、第二言語習得理論や小学校で教えるスキルなどを勉強することは、自分の日々の実践を見直すことになり、大変有意義でした。

### ■ 現在の活動状況

現在は、自宅で英語教室を運営しながら、草津市内の小学校 2 校にて、5・6 年生の外国語活動の授業に指導助手として勤務しています。週に 12 名の担任の先生とチーム・ティーチングを行います。個性豊かな学級担任の学級経営方針に寄り添って、子どもたちが英語に慣れ親しみ、英語を使って活動する授業作りのお手伝いをしています。また、指導助手は各学校に一人ですから、不安なこと、困ったことなどを一人で抱え込んでしまわないよう、市内の指導助手を中心に年数回集まり学習会を開いています。そこでは、実践した活動を紹介しあい、活動や教材に関するアイデアをシェアして、より充実した外国語活動ができるよう励んでいます。

さらに、2013 年 12 月には、J-SHINE 創立 10 周年記念事業の一環として滋賀県で初めてフォローアップ研修講座を開催しました。講座では、実習を含め、外国語活動の基本にフォーカスしました。私は、そこに参加くださった皆さんの熱心さに感動し、たくさんのエネルギーをいただきました。また、ともに運営に携わったトレーナーの方々や上級指導者資格保持者の仲間の素晴らしさに感激しました。「自分一人じゃない、こんなにも多くの仲間がそれぞれの立場で頑張っているのだ、そして私たちがつながればそれは子どもたちに、その未来につながっていくのだ」ということを実感しました。

### ■ 今後の展望

経験を積み、それだけで自分には指導力があると思いがちです。しかし、実践は確かな理論に裏付けされていなければ崩れやすいのです。たまたまうまくいっているだけかもしれません。より良い授業を作っていくには、第二言語習得や教授法など幅広く勉強しつつ実践していく必要があるでしょう。

今、小学校英語教育がこれまでにない勢いで変わろうとしています。今後はトレーナーとしての責任を感じつつ、学び続ける自分でありたいと思っています。外国語活動は小学校教育の一部ではありますが、その一部を通して子どもの成長に関わっていることを忘れずにいましょう。

